平成24年5月13日開催
焼却灰の仮保管に関する周辺住民
説明会の質疑応答要旨

柏市 環境部
南部クリーンセンター

1. 保管庫について

Q：計画ではドラム缶は何本入るのか。

A：約1,500本の計画。

Q：1,500本では1年分の保管量しかないのでは。

A：1日7本ドラム缶が発生するとして半年から1年分の保管量だが、手賀沼終末処理場の仮保管施設の前段階として作ることを想定している。草木の分別を徹底して、焼却灰の濃度が下がり、ドラム缶の発生量も少なくなることを想定している。

Q：計画場所は保育園に近いが配慮すべきでは。

A：計画場所は道路から見えにくいことや設置しやすさを考慮して場所を選定した。コンクリートの厚さを30cm以上にすることで放射線量は99%遮断されるので安全と考えている。

1. 保管庫について

Q : 収集車駐車場の屋根をとったりせず、もっと広い場所に立てたほうがよいのでは。

A : 予定地は少し低いところで二方向が壁側になり、放射線がより遮断されるのでより安全・安心が確保できる。

Q : ボックスカルバートの工事方法について、工事の安全対策と、連結はいくつで搬入はどうやるのか。

A : 横6m, 高さ4.6m, 幅1.5mのものを連結する。作業方法は土木工事として確立している。約50m全部作ってから、南部CC内のドラム缶をすべて入れ遮蔽する。作っている途中では搬入しない。搬入時にはドラム缶は密閉しているので外には漏れない。

Q : 保管庫の長さは短いほうが管理しやすいのではないか。例えば25mを2本とか。

A : 50m1本で作って管理していく。安全性は同じと考えている。

1. 保管庫について

Q：保管庫の前後の穴はどうするのか。

A：一方を閉じて、もう一方から短時間でドラム缶を搬入した後閉じる。

Q：迷惑施設は人の少ない場所に作るべきではないか。南部CC周辺は人が集まる場所である。

A：工場になるべく近い所で適切に管理したい。一元管理でいきたい。

Q：設置にかかる金はどうするのか。

A：市が立て替え、国に請求する方針。

Q：設置の予算はどれくらいか。

A：直接工事費はおおむね6,000万円。他に基礎、土木工事がある。

1. 保管庫について

Q：7号井という地下水の井戸が50mくらいの所にあるが安全か。

A：ボックスカルバートであればまず地下に影響を及ぼすことは考えにくい。大きな地震発生時には内部に入って確認するなど安全性を担保していきたい。

Q：国の施設が平成26年度末までにできない場合、追加で仮保管施設を南部CC内に作るのか。

A：できない想定は長期的にはしなければならないと思うが、現段階では国の動向を見守りたいと考えている。草木の分別を徹底することで管理しなければならないドラム缶の量も増えないようにしていきたい。

Q：県が提案する手賀沼終末処理場が決まらない場合は、市に処分場を作るのか。

A：県では我孫子市、印西市と協議を進めてもらっているのでその推移を見守っていきたい。

1. 保管庫について

Q：東大裏の用地はどうなっているのか。

A：東大近接用地の話は新聞社が裏をとらずに誤報した。財務省，環境省も了承しておらず，国県有地の照会を行っているが，具体的な調整はしていない。

Q：保管にあたっては水の管理を一番気をつけるべきと思うが，屋根をつける考えは。

A：ジョイント部分から水が浸入しない対策をとるほか，屋根や遮水シートを設置等の対策を考えている。

1. 保管庫について

Q：ボックスカルバートは他市の保管方法と比べてもしっかりした対応だと思われるが。

A：他市の保管方法も安全だが、柏市では厚さ30cm以上のコンクリートで保管を行い、費用はかかるが安全性を優先させたいと考えている。

Q：仮保管については2, 3ヶ月前から話があったらしいが、市民には何も公表されていない。広報などで知らせるべき。東大近接用地の話も市長が進めないのではないか。

A：仮保管については、まず南部CCの隣接町会に説明したいと考えた。東大近接用地については、当初国有地を照会した際にはリストに入っておらず、使途も決まっている土地と聞いている。その後に相談にのっていただけかどうか確認している段階で新聞記事になってしまった。

1. 保管庫について

Q：仮保管場所は市だけで決めたのか。市民と話して決めたのか。市有地だからといって市だけで決めないでほしい。

A：市で決め提案させてもらっている。南部CC敷地内で仮保管するのが一番よいと考えている。市のごみ処理行政を進めるためにもどうかご理解・ご協力をお願いしたい。

Q：国の基準に沿って焼却灰を処分すればよいのに、ボックスカルバートを作って国から金が出ないのではないか。

A：3月30日の国の方針で、8,000ベクレル/kgを超える焼却灰は国が責任を持って処分を行い、最終処分も各都道府県内でやるとされている。

1. 保管庫について

Q：仮保管期間は3年か10年か。

A：国は最終処分場の確保を今後3年で目指すとしているので、国の担当者に工程表を求めている。

Q：仮保管期間が何月何日までとの日付がないと容認できない。

A：何月何日とは明示できない。

Q：布施の最終処分場に仮保管施設を作ったらどうか。

A：布施の最終処分場では、昨年埋め立てた高い放射能濃度の焼却灰を掘り返し、ドラム缶で仮保管している。北部の焼却灰も約2,000トン現地で保管しており、これをどうするか地元と協議中のため、不可能である。

1. 保管庫について

Q：資料14ページの「モニタリング」とはどういう意味か。

A：定期的にボックスカルバート周辺の空間放射線量を測定する。万が一もれている場合は放射線量が高くなるので分かる。

Q：モニタリングで万が一異常値が出た場合の対策はどのようなのか。特に地下水は。

A：毎日測定を行い、変化があったら地下水に入る前に対策を行う。

Q：モニタリングは市民立会いのもとで行ってほしい。

A：市民立会いでやっていきたい。設置前後で測定を行い、変わりのないことを確認していく。

1. 保管庫について

Q：市議会の中で議案として出ているのか。

A：議案は出していない。今後急を要する場合は、専決処分を進めていきたいが、まだ何も決まっていない。

Q：議会で認められない場合に作ってよいのか。

A：一定金額以上の案件は議案になるが、緊急を要する場合は専決処分を実施する。

Q：議会に諮っていないとのことだが、3月議会で南部CC敷地内で作ることを周辺町会の役員に説明しているとあり、議会に諮っているのではないか。

A：（議会に諮っていないとは）設置費用の承認がまだという意味。

1. 保管庫について

Q：6月議会で諮るべきでは。

A：議会で議論はする。対案があると思うが、限られた時間の中でやらないといけないので進めるものは進めていく。

Q：経過をしっかりと示してもらいたい。清掃工場がある上に仮保管庫では、地域は二重苦を負わされているので、私は反対する。

A：対案があると思うので、きちんと議論していきたい。

2. 焼却灰について

Q：国が3年を目途に最終処分としているが本当にできるのか。

A：100%確実とはいえないがそれに向けて動いている。

Q：資料の中の数字はいい加減では。

A：実測値の上限，下限を出している。

Q：5万ベクレルの焼却灰を体内に入れたらどういう影響があるか。

A：焼却灰は固形化してドラム缶内に密閉しているので吸うことはない。
作業も安全に行っていく。

Q：北部の焼却灰の搬出先である民間処分場はどこにあるのか。

A：受け入れてくれている処分場側から騒ぎになると搬入停止になる恐れがあると言われており，公表は控えている。

2. 焼却灰について

Q：北部CCだけでも焼却処理できるのでは。

A：南部CCが停止したら北部CCにごみを移送して焼却することになるが、やりきれない場合は南部CCも稼働させる必要がある。

Q：市内の最終処分場で処分できないのか。

A：現在8,000ベクレル/kg超の焼却灰は処分できない。

3. 草木枝等の分別について

Q：草木の屋外ごみと生・紙くずなどの屋内ごみを別の日に分けて収集すれば、土払いなどの処理がしやすいのでは。

A：ご指摘のように草木の分別，収集日の変更を計画中。

Q：市に問い合わせたら，草木は多少の量だったら可燃ごみに混ぜて出してと言われたが。

A：現在は草木の分別徹底をお願いしている。今後さらに徹底して，市民の皆さまにも広報していく。

4. その他

Q : 酒井根東町会には説明会開催の回覧がなかったが、広報はどのように行ったのか。

A : 隣接町会には回覧文書を配布した。ホームページにも載せたが遅くなった。

Q : 今日の説明会のゴールはどこにあるのか。

A : 今日の説明会の目的は安全性の説明をし、仮保管を行っていくという意思表示。安全性をきちんと説明、担保してやっていく。

Q : もう一度説明会を実施するとのことだが、その時は仮保管庫の設置が決定しているのか。

A : ごみ処理行政を進めるためには、設置せざるをえない。仮保管場所の近隣住民の気持ちを(他の市民にも)考えてもらうようにしていく。